

児童発達支援ガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%

保護者様： 17名回答、回答率 89%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・法令上の基準は満たしているものの、児童発達支援と放課後等デイサービスが重複する時間帯はそれぞれの職員数が限られてしまう為、配置の調整や工夫は必要である
- ・放課後等デイサービスと隣り合わせの部屋で支援を提供しており、時間帯によって隣の部屋の音が気になることがある
- ・毎日児童が入室する前に清掃、消毒を行っている

○業務改善

- ・教室内ミーティングを実施し各情報を職員全員で共有している
- ・事前に研修テーマを計画し、月に1回以上研修テーマに沿った教室内研修を行っている

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画作成、更新時、指定のアセスメントツールを使用し適応行動の状況把握を図っている
- ・課題設定時には必ず個別支援計画に沿った課題設定を考えている
- ・活動プログラムを中心となって立案する担当者を定期的に変えることで活動内容が固定化しないよう工夫をしている
- ・業務前ミーティングを実施し課題の内容、役割分担を話し合い、確認している

○関係機関や保護者との連携

- ・保護者からご要望があった際に保育園や相談支援員と連携をとり、保育園訪問や担当者と会議を行ってその結果を保護者へ共有している

○保護者への説明責任等

- ・支援後のフィードバック時や面談時にお話しを伺い、お伝えする場を設けることで保護者と職員が共通理解を持って対応できるよう努めている

○非常時等の対応

- ・非常時の各マニュアルを作成しているが保護者への周知までは至っていないため、お便りを作成し、常時掲示し、保護者へ配付を行う
- ・外部から講師を招き定期的に虐待研修を受けている

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・安全面も配慮され、複数名での体を動かす活動を行う上でも十分なスペースが確保されている
- ・児童1人ひとりに必要なフォローができる人数で対応していただいている
- ・活動を行う室内は常時衛生的に保たれていると感じる等のご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・日常での困りごと等について丁寧にヒヤリングしてくださっている
- ・季節ごとの行事も取り入れつつ、興味の幅を広げるような課題を用意してくださっている
- ・保育園訪問等に行っていただき助かっている等の支援に対して満足度の高い評価をいただいた。

○保護者への説明等

- ・フィードバックが丁寧でありがたい
- ・毎回の振り返りの時間等で課題への進捗やその時々状況について共有している
- ・定期的に日々悩んでいること・困りごとについて相談する機会を作ってください、専門的な目線でのアドバイスをいただいている
- ・保護者会等は開催されていないが、待合室で他の保護者と知り合う機会があるとの意見が寄せられた。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの周知について、「周知されている」と「わからない」で回答に偏りが見られた為、周知方法については工夫を検討する必要がある
- ・非常災害を想定した訓練の実施について、「わからない」との回答が半数以上あった為、実施方法について改善を図る必要がある

○満足度

- ・子どもも保育園と家庭以外に安心できる居場所として認識している様子がある
- ・子どもが楽しく通所しているのと成長が見られて満足している等の多くの保護者に満足いただけた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者様からの協力を得て、関係各所と随時連携が図れるような関係性を築き上げていく
- ・児童に対して支援について、職員間で話し合いながら楽しく且つ適切な支援を行なえるように教室内ミーティングにて話し合う
- ・教室窓に飛散防止及び遮熱シート取付、教室前階段 誘整備を行うことで安全管理を徹底する
- ・現状満足度から更なる発展ができるように、今回アンケート結果を踏まえ 1年を通して改善できるようにしていく

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者様から情報やご希望をいただき、保育園訪問や相談支援事業所の情報共有を行い関係各所との連携に努めることが出来た。
- ・業務前ミーティングを日々行うことでその日の支援内容を職員間で話し合い、役割分担を行うことで児童の特性や課題設定に合わせた支援の提供に努め、高い満足度に繋げることができた
- ・教室窓に飛散防止及び遮熱シートの取付を行い改善を図ったが、未だ太陽光によるモニターの反射や訓練室内の温度調整の困難さの課題が残った。再度検討する必要があると考えている。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・活動、療育の担当者を定期的に変えることで多様化に努めており、保護者からも評価をいただいている
- ・個別支援計画の更新面談とは別に、定期的に個人面談の機会を設定したことで保護者との連携を密にすることができ、保護者との関係性を築き上げることができたことに加え、状況に応じた子どもの様子も把握することができ、支援に繋げることができている
- ・希望に応じて保育園との連携にも努めた

○改善点

- ・児童発達支援と放課後等デイサービスの一体型教室であることから、児童発達支援での避難訓練の実施が少なくなってしまった為、時間帯を合わせて教室全体として実施できるよう工夫する必要がある
- ・感染症対策の観点より保護者会の開催が難しかったが、制限が緩和されたことで療育参観や対面での保護者会を企画していく

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会の実施や別の形で、保護者に向けた活動報告の機会を設けていく
- ・前年度に引き続き、定期的に活動内容として避難訓練を取り入れ、全児童が取り組めるよう計画する

○1年間で取り組む具体策

- ・年間1回保護者会実施を行う為に、保護者会や療育参観をどのようなかたちで実施するのが良いかの聞き取りを行い、なるべく要望に沿ったかたちで活動報告の場を設定する
- ・月に1回以上避難訓練のプログラムを設け、1年間ですべての利用者に対して訓練を実施する
また、フィードバックや面談、その他保護者とのやりとりの際に、訓練実施の旨を伝える